



インクジェットプリンタ用

つめ替えインク《共通取扱説明書》

●ご使用前に必ずお読み下さい。

つめ替えインク対応表

BCI-3・3e	対応カートリッジ	BCI-5・BCI-6
C66100	BK	C87000
C66000	PBKフォト	—
C66010	C	C87010
C66020	M	C87020
C66030	Y	C87030
C66040	PCフォト	C87040
C66050	PMフォト	C87050

対応プリンタはパッケージをご覧ください。



注意

- インクカートリッジの種類により適するインクが異なります。対応カートリッジをご確認の上ご使用下さい。
- インクは身体及び衣類等に付着するとすぐには消えません。取扱にご注意下さい。
- ご使用前に注意事項を必ずお読み下さい。

セット内容



インク成分

●蒸留水、イソプロピルアルコール、ジエチレングリコール含有

安全上の注意

次の注意事項は、つめ替える時の危害や損傷を未然に防ぎ、つめ替えインクセットを正しく安全にお使い頂くためのものです。

- つめ替えは新聞紙などを敷いて、その上で行って下さい。
- ポケットドリルは金属製です。ご使用の際は、手・指など、けがをしないように説明書に従い注意して取り扱って下さい。使用しないときは、パッケージ(外箱)に入れて保管して下さい。
- つめ替える時にインクがこぼれ、周辺が汚れる事があります。ティッシュペーパーもしくはペーパータオルなどをあらかじめご用意下さい。
- 本製品のインクは身体や衣類に付着するとすぐには消えません。ご使用に際しては注入する時は不用意にインクボトルを強く握ったり逆さまに持たないようにして下さい。インクボトルのノズルの先からインクが飛び出したり、こぼれ落ちて身体や衣類に付着しないように注意して下さい。

注意

- 子供の手の届く所に置かないで下さい。
- 飲むことはできません。誤って飲んでしまった場合には、医師の診断を受けて下さい。
- 目に入ってしまった場合には、すぐに水で洗い流して下さい。
- カートリッジをプリンタから取り外したり、取り付けたりする時には、プリンタの取扱説明書の指示に従って下さい。
- インクは開封後1年以内にご使用下さい。

保管

- 残ったインクはゴムキャップをしっかりと閉め直射日光の当たらない涼しい所に立て、次のつめかえまで保管して下さい。

- 本製品のインクは当社オリジナルインクを使用しています。純正インクを使ったプリントの色合いとは差異が生じる場合があります。
- 本製品はキヤノン(株)とは無関係で承認を受けたものではありません。
- 商品仕様は諸般の事情により予告なく変更することもありますので、あらかじめご了承下さい。
- 記載されている会社名・商品名は、一般には各社の商標または登録商標です。
- 万一当社の製品上の原因による品質不良がありました場合には、同数の新しい製品と取り替えます。それ以外の責はご容赦願います。
- 改良のため予告なく外観、仕様を変更する場合があります。

■発売元

北村製作所

石川県白山市専福寺町96-1 TEL.076-276-3111 FAX.076-276-1529 E-mail:ink@kitamuraimg.com http://www.kitamuraimg.com

トラブルシューティング

	症状	確認事項	処置
つめ替え作業中	注入中にインクが漏れてくる。	インク供給口キャップが外れていませんか。	インク供給口キャップは注入中のカートリッジの中にあるインクの漏れを防ぐものです。供給口の周囲を見て、すき間や外れていないか確かめてください。
		ボトルのノズルで注入口をふさいでいませんか。	注入されたインクと同量の空気がカートリッジから出なければ中に空気が充滿してインクが漏れてきます。注入中はノズルと注入口の間にすき間をあけるようにして空気を逃がして下さい。
	プラグをした後にインクが漏れている。	インク供給口からインクが漏れていませんか。	プラグの差し込み方を確認してください。 余分なインクが残っている可能性があります。カートリッジをペーパータオルなどの上に置いて、再度インクを除いてください。
印刷の時	つめ替えた色のインクが出ない。	カートリッジが正常に取り付けられているか確認してください。	カートリッジが浮き上がった状態ではインクが供給できません。固定用つまみがカチッと音がするまで入れ直してください。
		インク供給口からインクが漏れてきませんか。	余分なインクが残っているかインクの入れ過ぎの可能性がありますが、インクの入れ過ぎはインクのすすぎとなり、ノズルをふさいで印字出来なくなる場合があります。(手順⑦)の余分なインクを除く作業を再度行ってください。
	印刷にかすれやスジが入る。または、途中で途切れる。	カートリッジを確認してください。	互換カートリッジや再生リサイクルカートリッジをつけていませんか。純正品以外は対応しておりません。
		長期間使用していない。または、外してあったカートリッジではありませんか。	インク供給口や空気のミゾをカバーしないで放置されたカートリッジをつめ替えても、残っていたインクの乾燥や劣化により正常な印刷ができない可能性があります。つめ替える前に必ず印字できるか確認してください。
		他社のインクと併用していませんか。	純正互換インクなので、併用した場合インクのかすれや出なくなるおそれがあります。
	色合いがおかしい。	つめ替え回数を確認してください。	つめ替え回数が多くなると(3回までが目安)カートリッジのフェルトの中に空気の泡が発生し、インクの流れが悪くなり、かすれや途切れやすくなります。新しいカートリッジに交換をお勧めします。
ノズルチェックをして、出力した色を確認。			当社オリジナルインクを使用しており、同等の品質を実現させていますが、若干の色の差異が生じる場合があります。
カートリッジの取り付けを確認してください。		つめ替えたカートリッジが正しい色の所に戻されているか見て、入れ直してください。	
カートリッジの色とつめ替えた色とが合っていないか。		シアンとフォトシアン、マゼンタとフォトマゼンタなど、よく似た色をつめ替えてしまう場合があります。このような場合はいったんインクを全部抜いて、本来の色のインクを入れ直し正常な色になるまで印刷する必要があります。	
他の色のカートリッジで使ったキャップを使用して、インク供給口の色が変わっていませんか。		インク供給口のフィルターに本来の色が出るまでティッシュペーパーなどを押し当てて下さい。変わった色が消えれば使用できます。	
他社のつめ替えを先に行っていないか。		併用した場合、色が変わる恐れがあります。必ず、純正品からつめ替えてください。	
インク供給口キャップについて	キャップの取り扱いについて。	印刷後、インクが乾いていますか。	使う用紙により差がありますが、インクは印刷してから乾くまで時間がかかり、その間、色合いは変化して行きます。少なくとも30分以上経過してから確認してください。
		用紙や設定が変わっていませんか。	設定が変わると色合いが違って印刷されます。
インク供給口キャップについて	キャップの取り扱いについて。	保管目的には使用できません。	キャップはつめ替え作業専用です。カートリッジのインク供給口に取り付けたまま保管放置すると、供給口の中のフィルターが変形してプリンタに装着してもインクが供給できないなどの不具合が発生する可能性があります。つめ替え作業だけにお使い下さい。

つめ替えの前に必ずお読みください

■ つめ替えのタイミング

インクタンクのインクが無くなるうちにつめ替えて下さい。プリンタからインク残量少ないと告知が出て、インクタンク部にインクが残っていて底が見える前がつけ替えのタイミングです。

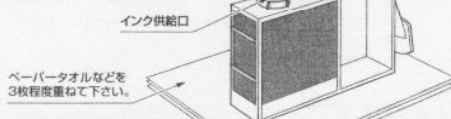
■ 汚れ防止のための準備

- つめ替えのときインクがこぼれて、周辺が汚れることがあります。あらかじめ新聞紙またはペーパータオルを用意し、その上でつめ替えを行って下さい。
- 手順②以降は、手袋(③)を着用して下さい。



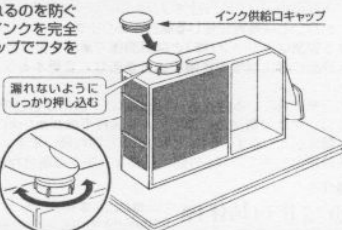
1 インクカートリッジをペーパータオルなどの上に置く

ペーパータオルなどの上に、プリンタから取り外したインクカートリッジを図のようにセットします。



2 インク供給口キャップでフタをする

インク補充の際にインクが漏れるのを防ぐため、供給口に付着しているインクを完全に拭き取り、インク供給口キャップでフタをします。

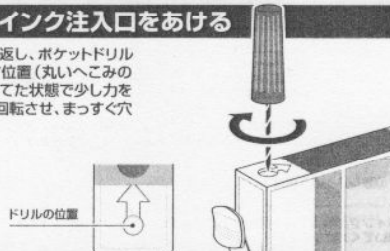


注意

BCI-3eBKはキャップ大、それ以外のカートリッジはキャップ小を使用して下さい。

3 カートリッジにインク注入口をあける

カートリッジをひっくり返し、ポケットドリル(④)の先端を図で示す位置(丸いへこみの中)に合わせ、垂直に立てた状態で少し力を加えながら時計方向に回転させ、まっすぐ穴を開けます。

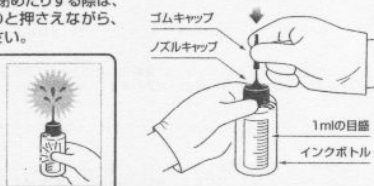


4 インクボトルのゴムキャップをはずす

手袋(③)を着用します。インクボトルのゴムキャップを取り外したり閉めたりする際は、キャップの根元をしっかりと押さえながら、垂直方向に動かして下さい。

注意

インクボトル部分は絶対に押さえないでください。インクが飛び出すことがあります。(ゴムキャップを閉める際はノズル先端から1cm程差し込んでください。)



5 インクを注入する

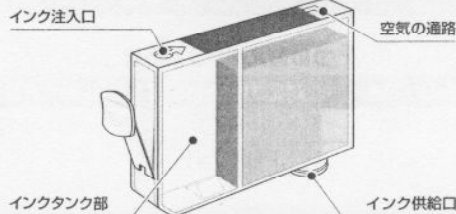
- ① インクボトルのノズルの先端を水平より上向きに持って、ドリルであけた注入口にノズルの先端を合わせます。
- ② そのままインクボトルが垂直になるように起こして差込みます。
- ③ ノズルと注入口の間にすき間をとり、
- ④ ノズルは注入口から1cmほど入れます。
- ⑤ ボトルをゆっくりと絞りながらインクを注入し、スポンジの高さぐらいまで注入して下さい。
- ⑥ スポンジの方にインクが吸収されて行ききますので、1分ほど様子を見ながら、吸収されてインクの液面が下がった分をもう一度スポンジの高さまで注入して下さい。

■ インクの注入量

BCI-3BKは約15~20ml(その他のカートリッジは約7~10ml)が1回の注入量です。つめ替え2回目以降は回数が多くなることに注入される量が少くなる場合があります。また、お使いの状況により注入量が変わります。



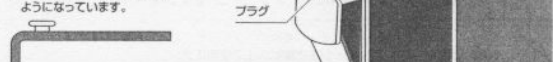
■ カートリッジの確認



6 注入口にプラグを差し込む

注入口からこぼれたり付着したインクをティッシュペーパーなどで拭き取ります。付属のプラグ(⑤)を注入口に差し込み、インクが漏れないようしっかりとフタをします。

- プラグは3~4mm程度出るようになっています。



7 インク供給口キャップを取り、余分なインクを除去

インク供給口のキャップをとり、ティッシュペーパーなどの上に10~30秒置いて余分なインクを除去して下さい。その後、インク供給口からインクが出てこないことを確かめた後、付着したインクも軽く拭き取ってからプリンタにセットして下さい。

注意

- [6]の後すぐにはインクが出ない場合がありますが、必ずこの作業を行いインクを除去して下さい。
- 注入口にプラグがしっかり差し込まれていないと、インクがとまらない場合があります。しっかりとプラグを差し込んで下さい。
- インクがこぼれた状態でカートリッジをプリンタに装着しないで下さい。

8 クリーニング・印字テスト

最初にクリーニングを1回行い、印字テストを行ってください。プリントがよくない場合は、もう一度クリーニングと印字テストを行ってください。クリーニングと印字テスト方法はプリンタの取扱説明書を参照してください。クリーニングの繰り返しは、インクカートリッジの寿命が短くなります。3回目までのクリーニングで正常にプリントされない場合はトラブルシューティングを参照して下さい。

● つめ替えが終わったら

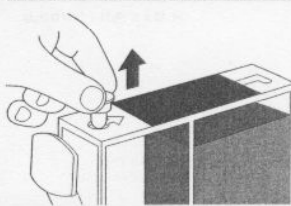
つめ替え後の残ったインクは、ゴムキャップをしっかりと閉め、直射日光の当たる所及び高温多湿の場所は避け、涼しい所で、次のつめ替えまで保管して下さい。

● 2回目以降のつめ替え

手順②のインク供給口キャップでフタをしてから注入口に差し込んだプラグを引き抜きます。4~5の手順でつめ替えを行い、終了したら外したプラグを再度しっかりと注入口にフタをします。

注意

外したプラグは再度使用しますのでしっかり保存して下さい。



● つめ替え回数

つめ替えインクによるカートリッジの再使用は、3~4回までが適当です。それ以上のつめ替えは、インク供給に不都合を生ずることがあります。その際は新しいカートリッジをお買い求め下さい。